

MAGICAL CHEMICALS [イノヴェイティブ ケミカル/ソルトX]

塩と塩素をブロックするバイオケミカル

海が生活の中心であったり、遊びの中心であったり、人によって様々だけれども、海との接点が多ければ多いほど、塩水や塩分との戦いを強いられることになる。現に海に近いところに住んで、日常茶飯事にサーフィン、フライフィッシング、フリーダイビング、それにシーカヤック、時にはセイリングまで楽しむボクにとって塩は大敵だ。しかるに用具の整備は怠れない。遊んだあとの塩分のクリーニングには、遊ぶ前の準備と同じくらい念入りに時間をかけている。なぜかって、塩は単にサビをもたらすだけでなく、塩の結晶が、例えば非常に精度の高いナイーブなリールに狂いをもたらすことがあるからだ。もちろん、サビこそ決して許してはならない。だいたいにおいて海用の道具は耐久性が求められるのでとても高価だから、サビや塩分による腐食に侵さ

塩抜き時間が1/4。しかも、無害、バイオデグレダブル!

れたからといって簡単に買い替えるわけにもいかない。救いは、海水や塩分を取ったり予防する手入れだけということになる。

ボクがこのSALT-X (ソルトX) を使い始めたのは、本誌遠藤編集長と中米のベイリーズヘボンフィッシュを釣りに行きカリフォルニアへ帰って以来であるから、まだ半年にも満たない。けれども、偶然家の近所のフィッシングショップで見つけて以来、お世話になりっぱなしだ。

このアウトドアイクイップメント誌で、化学薬品らしきものを紹介するのは珍しいとお思いの読者諸兄もおられるかもしれない。ご心配なく。このSALT-Xは、ノントキシック、つまり有害性なし。さらにバイオデグレダブル、す

なわちバクテリアなどによって自然分解されるのである(でなければボクが紹介するわけがない)。今までは、フライノルアーを問わずフィッシングリールだったら、海で使った後で長時間水道からの流水にさらしたり、漬け込んだりしたうえでさらに手入れをしなければならなかった。でも、カリフォルニアの水道水は塩素分がとても多く、かえって白い塩素の結晶を作ってしまう逆効果になってしまう。聞けば、今や日本の水道水も相当に塩素を含んでいるらしい。さらに蒸留水を使ったとしても長時間漬け込むことは避けられないわけだ。ところが真水約1リットルに対しこのSALT-Xを大さじ1杯強の割合で溶かした溶液にリールを漬ければ、ただの真水に漬ける4分の1以下の時間で塩分を取り去ることができるという素晴らしいことである。10時間水に漬けていたのが、2時間半以下になるということ。しかも溶液から取り出したら軽くすすぐだけで、ゴシゴシする必要はまったくない。さらに金属表面や貼っているステッカーなどを傷めることもないし、既存のサビは60%以上とることができるというのだからどうなっているのだろうとボクの好奇心は抑えられなくなってしまっていた。何か質問や問題があったらいつでも電話してくれとあるラベルの番号にコールして、イノヴェイティブケミカル社の副社長と話すことができた。副社長のジョン・ヘルムスは10年前に発明したこのSALT-Xが、最近環境的な側面から、また製品自体の効果から著しく脚光を浴びるようになってきたと教えてくれた。とても研究して作り上げた製品であることから業務機密として成分は明かしてもらえなかったけれど、そのかわりに、



Photographed by Mitsuyuki Shibata

アメリカ政府の農務省や保健衛生官庁、アメリカ軍海兵隊の本部、毒物検査の私的研究所の他、ボクも知っている環境検査団体のそれぞれが各方面から厳しいテストして安全性の合格を出したオフィシャルな書類を見せてくれた。ボクの手元のフィッシング雑誌を探してみれば、あったあった。ソルトウォータースポーツマン誌が去年の8月号で絶賛しているではないか。頑固なサビや塩分/塩素の結晶には原液をスプレーすればよいし、希釈液をスプレーで使えば、手の届かないところやポートやカヤック本体金属部などのバケツで漬け込むことができないところまでクリーンアップすることができる。

最近、日本でも沖繩のファーイーストサービスという会社が取り扱いを始めたそうなので明るい話題だ。このオーシャンマンの救世主SALT-X、ハッキリ言ってボクのオススめです。(K.FUJIKURA)



頑固なサビや塩分/塩素の結晶には、このように原液を直接スプレー。わずかの隙間にも入り込み、金属を生き返らせるのだ。